

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 人権同和对策課人権啓発推進センター長 吉本 祐子 電話番号 0852-22-6849

事務事業の名称	人権啓発指導者養成事業	
目的	(1) 対象	市町村担当職員・公民館長等社会教育施設職員・各種団体指導者等
	(2) 意図	人権・同和教育への理解と認識を深め、指導力の向上を図る。
事業概要	・地域指導者養成講座の開催・・・基礎講座、専門講座、隠岐講座、地域中核指導者養成講座、地域中核指導者連絡協議会、公民館等関係者研修 ・団体指導者養成講座の開催（委託事業）・・・人権・同和教育を考える女性の集い、同和教育青年団体研修	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 地域中核指導者数	目標値		229.0	237.0	245.0	253.0	人
		取組目標値						
	式・定義 人権・同和教育地域中核指導者養成講座修了者数	実績値	221.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,884	1,998
うち一般財源(千円)	1,884	1,998

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・基礎講座は、受講者数が前年度比で57%増加している。
- ・専門講座は、前年度比で受講者数は、変わらないが、基礎講座からの継続受講者が全体の58%であった。
- ・公民館等関係者研修は、全体の参加者は減少しているものの、一日を通して参加する受講者の割合は増加している。
- ・隠岐講座は、修了者数が8名から12名に増加した。
- ・女性の集いは、90名程度の参加を維持している。
- ・青年団体研修は、参加者が減少した上に、一日を通しての参加者が少ない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・基礎講座は、参加者数を市町村別で見ると地域によって差があったことを受け、会場を西部は益田会場、東部は出雲会場とした。その結果、受講者数が約1.5倍に増加した。また、各講座のねらいを整理したり、プログラムの構成を見直したりすることで、基礎講座から専門講座への連続性が図られ、専門講座への継続参加が58%となった。
- ・公民館等関係者研修は、プログラムを実践的な内容に組み直した結果、一日を通して参加する受講生の増加につながった。
- ・隠岐講座は、前期と後期に分け、内容も多様な人権課題に対応した外部講師の講話を聞く機会を設定し、人権・同和教育についての関心をもつ動機付けにもなった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・青年団体研修は、参加者が減少している。また、一日を通しての参加が少ない。
- ・基礎講座で全日程参加ができなかった受講者が少なくない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・市町村への周知の方法と内容が不十分。
- ・人権・同和教育研修参加への抵抗感。
- ・青年団体研修については、人権週間（12/4～12/10）に開催しているが、年末の多忙な時期である。

③原因を解消するための「課題」

- ・事業の広報・周知の工夫。
- ・受講者の受講への動機付け。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・市町村担当者会議や市町村訪問などにおいて、研修・啓発事業の取組成果等についての周知と各市町村の研修や指導者養成の実態、ニーズ等についての意見交換を行う。
- ・講座内容（プログラム）の充実を図り、受講者の満足度と実践成果の向上をめざす。
- ・ホームページやチラシ、各種会合でのPR等、広報周知の機会や方法を工夫する。
- ・地域のニーズや地域での取り組みに即した事業となるための情報収集や意見交換に努める。
- ・青年団体研修は、各団体の代表者への聞き取りを行い、研修の実態、ニーズの把握を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）